

分野	31	地域活動・市民活動	通番 49
施策	311	自治活動の促進	
5年後の目標	地域住民の間に日常的な対話が増えてつながりが生まれ、地域の課題に市民が主体的に向きあい行動している。		

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	自治会活動支援事業		会計	款	項	16,479,667	自治・共助振興室
			一般	2	1		
事業の概要							
自治会長会において、各自治会における現状や相互に共通する懸案事項について、情報交換や交流会を継続して実施します。さらに、自治会が組織としての機能を発揮するように、運営補助と事業補助を行うとともに、自治会館等への補助制度を時代に応じたかたちに拡充し、住民自治活動を促進します。また、新たに未組織地域が発生しないよう関係機関に働きかけるとともに、自治会未組織地域の解消に向けた支援を行います。							

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	自治会加入率				単位	%
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	53.3(令和2年度)	目標	50.0以上	50.0以上	50.0以上	50.0以上	50.0以上
		実績	52.6	50.1	47.5	45.0	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の管外研修では、自治会運営のデジタル化に取り組んでいる福井県坂井市役所を訪問し、自治会向けデジタルツール「自治会サポ！」についての研修を行いました。</li> <li>・11月には、「市長と語る対話のわ」を開催しました。「市民アンケート結果から考える長岡京市のこれから」として、市の現状とまちの新陳代謝について、自治会が身近に抱える課題等を通して活発な意見交換が行われました。</li> <li>・冬季研修会では「自治会の加入促進について」をテーマに、自治会の現状や市民活動団体との連携などの情報を共有し、他団体との連携事例や退会者を減らすために成功した事例について意見交換を行いました。</li> <li>・自治会未組織地域にあるマンション等と、行政がつながるきっかけをつくるため、令和7年1月より「マンション等みなし自治会登録制度」をスタートしました。</li> <li>・多様な自治会のあり方への支援体制や手法について、自治会と協議し、庁内で検討を進めました。</li> </ul>							
							冬季研修会の様子

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和6年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号
		自治会加入率		国勢調査では、単身世帯が増加しています。また大型マンションや開発地が自治会未組織となるケースが増えています。既存自治会からの脱会、未加入者も増加しています。
C (評価)	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記取組に加え、各自治会が転入者に声掛けをされることにより、新規自治会員の加入はありますが、施設入所等の社会的減少及び自治会活動への負担感により退会者が生じていることから、全体として加入率は減少となりました。</li> <li>・自治会役員の負担軽減に加え、子育て世代や就労世代などの加入促進を目的に、自治会運営のデジタル化支援ツールの情報収集を行い、自治会サポ！の導入を決定しました。</li> <li>・研修会において、自治会での加入促進や退会抑制に対する課題や好事例を共有することができました。</li> </ul>	
	課題等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に高齢の方が、自治会活動や役に対する負担感により脱退されるケースが多くなっています。</li> <li>・自治会員の高齢化と役員の後継者不足により組織が弱体化し、維持が難しくなっている自治会も出てきています。</li> <li>・新たに建設されたマンションや開発された区域が自治会未組織・未加入となる割合が増えています。</li> <li>・地域の特性に応じた自治会運営に対してのきめ細かい支援が求められています。</li> </ul>	

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度より導入する自治会サポ！の積極的な活用により、役員の負担軽減に加え、子育て世代や就労世代が関わりやすい自治会運営を目指します。</li> <li>・「マンション等みなし自治会登録制度」の周知・PRに努め、積極的な活用を促すことで、新しい自治や共助の形を模索します。</li> <li>・多様な自治会のあり方に対する支援について、引き続き、協議、検討を進めます。</li> </ul>

分野	31	地域活動・市民活動	通番 50
施策	311	自治活動の促進	
5年後の目標	地域住民の間に日常的な対話が増えてつながりが生まれ、地域の課題に市民が主体的に向きあい行動している。		

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	地域コミュニティ活性化事業		会計	款	項	11,967,687	自治・共助振興室
			一般	2	1		
事業の概要							
防災や高齢者の見守り等、地域に期待される互助・共助の意識向上を目指し、地域のコミュニティの活性化を進めます。地域コミュニティ協議会の役割を明確化し、全小学校区でのコミュニティ協議会など校区を単位とした住民連携組織の設立に向けた支援を行うとともに、地域における自主運営体制の確立に向けた支援を行います。また、地域における各種団体の存在意義や役割を明確化し、重複する事業の整理統合等を進め、地域活動団体の負担軽減や連携強化を推進します。							

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	小学校区での住民連携組織の設立数				単位	校区
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	8(令和2年度)	目標	8	9	10	10	10
		実績	8	9	9	9	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の主体性を尊重しながら地域課題や問題を解決する仕組みを模索するために、設立9校区においてそれぞれの特性を活かした地域コミュニティ活性化事業を実施しました。</li> <li>長六小学校区においては地域コーディネーターを配置し、事業や活動の調整役・行政とのパイプ役を担いました。</li> <li>その他8校区では、地域住民の自主性をより高めるため、地域コーディネーターを置かない住民主体の事務局運営を実施しました。</li> <li>校区コミュニティに支払う各種補助金について、より校区の特性を活かし、地域の主体性をもって活動できるよう、関係部署間や地域とで協議・調整し、令和7年度より一部統合するなどの見直しを行いました。</li> </ul>					<p>長九小ふるさとまつり</p> 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和6年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号	
		—		—	—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の設置済み校区は9校区です。</li> <li>長法寺小・長三小・長四小・長五小・長七小・長八小・長九小・長十小学校区では地域コーディネーターを置かない住民主体の事務局運営をしています。住民自らが主体的に地域活動に関わり、地域力の向上につながりました。</li> <li>未設置校区である神足小学校区において準備委員会設立に向けたプロジェクトチームが地域で作られ、検討が進みました。</li> </ul>	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティ協議会未設置校区である神足小では、準備委員会・協議会の設立に向けて各団体の意識醸成を含めた支援が必要です。</li> <li>地域コミュニティ協議会既設校区では担い手不足や役員の新陳代謝促進が課題となっており、地域の特性や課題に沿った視点からの支援を検討する必要があります。</li> </ul>				

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>未設置校区の神足小学校区においては、新たな組織に参加することによる負担感を払拭するとともに、自治会や他の住民連携組織との違いを明確化した上で、協議会設立に向けた働きかけを行います。</li> <li>地域への補助金交付や委託事業について、地域のニーズや課題を把握し、負担軽減や効果的な活動に向けた整理・統合を行うため、地域や部局間での協議・検討を進めます。</li> </ul>

分野	31	地域活動・市民活動	通番 51
施策	311	自治活動の促進	
5年後の目標	地域住民の間に日常的な対話が増えてつながりが生まれ、地域の課題に市民が主体的に向きあい行動している。		

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	助け合いとつながり事業		会計	款	項	494,867	自治・共助振興室
			一般	2	1		
事業の概要							
「助け合いとつながりのまちづくり条例」に基づき、参加者が座学やワークショップ、地域活動体験等を通して、自分たちの地域を知り興味を持つことができる「多様な市民が考える場」を開催するなど、市民と地域のつながりを創出し、地域活動等の参加促進や将来的な地域の担い手育成につなげます。							

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	「多様な市民が考える場」の参加率(各回) ※参加率は、参加メンバーとなった者が、ワークショップ等に参加した割合。				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	参考:「自分ごと化 会議」の参加率 (41%)	目標	/		60以上	60以上	60以上
		実績			60.7%	19.5%	
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の「考える場(まち活MTG)」は、令和5年度に活動を始めた第1期メンバーの2年目となることから、4月～2月に全9回の「まち活MTG」を開催し、グループ活動の報告や進捗確認、個別相談、複式簿記講座など、より実践活動へつながる内容へ移行していきました。</li> <li>新しい活動者の掘り起こしや活動につなげるため、まち活MTGの内容は、参加者メンバー自らが考え提案する形で設定し、新規メンバーやオブザーバー参加も随時受け付けました。</li> </ul>					まち活MTGの様子 		

施策の「5年後の目標」に対する評価			
令和6年度の達成状況			
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド
			—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち活MTGを通して、まちづくりへの参加意欲、活動開始時期、関わり方など、参加メンバーそれぞれの状況に合わせた柔軟な活動へと改めたため、参加メンバーの参加率は目標を下回りました。</li> <li>・活動を始めたメンバーからは3つの新しい活動団体が生まれ、2年目のまち活MTG内でそれぞれの活動を展開することができました。一方で、参加を継続しない選択をしたメンバーの大半は、「地域で活動を始める」や「定年退職する数年後から活動を始める」など、自分の環境や状況に応じたまちづくり活動への参加意向を示しました。条例の趣旨であるまちづくりの「自分ごと化」に大きくつながっています。</li> <li>・「まち活MTG」を市民活動サポートセンターで実施したことで、スタッフや相談員との交流を通じて、団体登録や補助金申請につながる活動が生まれました。</li> <li>・固定メンバーの全9回の延べ参加者数は44名でしたが、各回のオブザーバー参加も多くありました。</li> </ul>
	課題等	・まち活MTGの第1期メンバーとの交流の場を創出することで、第1期メンバーの活動の継続と、新規メンバーの活動の効果的な活性化につなげる必要があります。	

次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新メンバーを無作為抽出と公募で募り、まち活MTG内での様々な活動や1期生との交流などを通じて、まちづくりの自分ごと化につなげます。</li> <li>・市直営化した市民活動サポートセンターと連携し、まち活MTG参加者の活動意欲に応じた伴走支援を行います。</li> </ul>

分野	31	地域活動・市民活動	通番 52
施策	312	市民活動の活発化と協働の促進	
5年後の目標	生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。		

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	市民参画協働推進事業		会計	款	項	1,377,460	自治・共助振興室
			一般	2	1		
事業の概要							
市民活動団体への財政的支援や活動拠点の提供、幅広い市民の参画の促進、情報発信や啓発などを実施します。 また、計画的に施策を進めるため、「長岡京市市民協働のまちづくり推進プラン」の進行管理を行います。							

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	「長岡京市市民協働のまちづくり推進プラン」の施策達成率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
		70.8(令和元年度)	目標	72.0	74.0	76.0	78.0
	実績		75.4	84.2	86.0	87.7	
<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の協働意識の向上のため、入庁1・2年目の職員を対象に研修を開催しました。</li> <li>市民参画協働懇話会を2回実施、市民協働のまちづくり推進プランの進行管理や補助金制度等について意見聴取しました。</li> <li>市民活動団体にみんなの未来をつくるまち活補助金(旧市民活動応援補助金)を交付し、財政的支援を行いました。また、採択団体の活動発表会を市民活動サポートセンターと3月に共催し、市ホームページで活動内容の紹介を行いました。</li> <li>公益事業への補助制度という主旨が伝わりやすくなるように、制度の一部を見直しました。</li> </ul>					補助金活動発表会		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和6年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号
			—	—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>入庁1・2年目の職員を対象とした職員研修のアンケートの満足度は99.3%でした。</li> <li>みんなの未来をつくるまち活補助金については、「はなさくコース」は4件、「たねまくコース」は9件採択し、小学校区コミュニティ活動応援コースを含め補助金(1,048千円)を交付しました。</li> <li>市民活動オフィスフロアの利用促進に向け、広報、HPの掲載及び利用者への更新案内を行い、5団体6ブースの利用がありました。</li> </ul>	
	課題等	現在の市民協働のまちづくり推進プランの評価指標は、達成すること自体が目的化してしまい、実質的な効果を上げていない状況です。そのため、ガイドラインに移行するなど、協働の実情や目指すべき姿に沿ったものへ見直す必要があります。		

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動団体の財政的自立に向けた支援を行います。</li> <li>市民協働のまちづくり推進プランの見直しに向けた検討を行います。</li> </ul>

分野	31	地域活動・市民活動	通番 53
施策	312	市民活動の活発化と協働の促進	
5年後の目標	生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。		

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	市民活動サポートセンター事業		会計	款	項	9,010,855	自治・共助振興室
			一般	2	1		
事業の概要							
市内のNPO法人などの市民活動団体の広がりや、ステップアップ、団体と地縁組織を含めた多様な主体との連携を促進するため、市民活動サポートセンターを中間的な支援機能を担う拠点として、指定管理者制度を活用し、民間のノウハウを持つ団体が、市民への紹介、団体同士及び団体と市民のネットワークづくりの支援、新規に活動をしたいと考える市民に対する相談及びアドバイスを行います。							

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	市民活動・ネットワークづくりに関する延べ相談件数				単位	件
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
		目標	70	80	90	100	110
	63(令和元年度)	実績	83	83	78	110	
<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度を活用して、相談業務や研修会・交流会、広報活動などを実施しました。</li> <li>月に一度モニタリングを行い、適切な会計処理やガバナンス機能の強化等を確認しました。</li> <li>サポセンに求められる機能やあるべき姿を指定管理者と協議・検討した結果、マッチングの仕組みや基盤づくりを強化するため、令和7年度からの市直営化(一部委託)を決定しました。</li> </ul>					市民活動サポートセンター 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和6年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号	
	達成度合	市民活動サポートセンター登録団体数		市民活動サポートセンターの登録団体数は前年度とほぼ同数。一定の団体の入れ替わりはありつつも、ここ数年同数程度の推移となっています。	22
		A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録団体数(施設利用ができる団体数)は前年度から2団体減り、167団体となりました。</li> <li>相談に訪れやすい空間づくりとして、ソフト・ハード両面からのアプローチを見直すことで、市民活動・ネットワークに関する総相談件数は延べ110件となり、目標を達成しました。</li> <li>まち活補助金やまち活MTGの事業と連携し、団体間の交流や、新規団体立ち上げの支援を行うことで、相談件数の増加にもつながりました。</li> <li>指定管理者との継続的な協議を通じ、中間支援のあるべき姿を再考し、より効果的な実施体制を構築することができました。</li> </ul>	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>質の高い中間支援を行うために、公益性を重視した柔軟なサポセン事業展開、行政全体を巻き込んだ各分野間の密接な連携、そして長期的な視点に立った安定運営体制の構築に取り組む必要があります。</li> <li>多様な主体のマッチングを促進する仕組みづくりを行っていく必要があります。</li> </ul>				

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	2: 進め方の改善の検討が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度から市直営化・相談業務等一部委託に変更し、柔軟なマッチングや専門性の高い相談などがスムーズに行えるための仕組みづくりを行います。</li> <li>協働や公益性の適切なマインドを多様な主体が共有できるよう、庁内での研修、市民や団体に対する啓発を強化します。</li> </ul>

分野	31	地域活動・市民活動	通番 54
施策	312	市民活動の活発化と協働の促進	
5年後の目標	生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。		

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)	予算科目			決算額(円)	担当課	
	多世代交流 ふれあいセンター事業	会計	款	項	目	15,030,633	多世代交流ふれあいセンター
		一般	2	1	19		
事業の概要							
地域活動・市民活動を支える拠点の一つとして、また世代を超えた市民の幅広い交流を促進し、市民活動、男女共同参画、地域福祉、健康づくり及び生涯学習に寄与する場の提供、充実を図ります。							

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	多世代交流ふれあいセンター利用者数				単位	人
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
		目標	34,500	35,500	36,500	37,500	38,500
	33,355 (令和元年度)	実績	26,035	33,312	33,994	33,601	
<p>・医師会移転後のフロアを自習室とし、市内在住・在勤・在校(ただし小学生高学年以上)の方を対象に午前9時～午後7時まで無料で開放しました。令和6年度の利用者数は延べ1,904人でした。「静かな環境で無料で利用できる自習室は貴重」と好評を得ました。</p> <p>・交流室の利用のない時間帯に同室設置のグランドピアノを希望者が無料で利用できるフリーピアノ事業を開始しました。令和6年度の利用者数は542人でした。「広い空間で良質なグランドピアノを弾くことができる」と好評を得ました。</p>							
						交流室での活動の様子	

施策の「5年後の目標」に対する評価 令和6年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号
	達成度合 課題等	主な社会教育施設の利用者数		コロナ禍で低下した利用者数は、回復傾向にあります。
B:目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)		達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>全フロア合計の年間利用者数は33,601人であり、達成目標に対する実績は89.6%となりました。</li> <li>自習室とフリーピアノの利用状況が好調であり、利用人数も前年度と同水準でした。</li> </ul>	
課題等			・施設の老朽化に伴う施設修繕が多く発生しています。	

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1:計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習フロアの新規団体登録及び利用者獲得のための広報・周知活動を行います。</li> <li>優先順位を付けて施設修繕を行うとともに、施設の長寿命化を目的とした適切な管理を行い、「行ってみたい」「また来たい」と評価される施設を提供します。</li> </ul>

分野	32	人権	通番 55
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
5年後の目標	一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。		

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課		
	人権啓発推進事業		会計	款	項	目	共生社会推進課	
			一般	2	1	16		666,308
			一般	10	1	3		1,179,729
事業の概要								
全ての市民の人権が尊重され、個性と能力を発揮することができる社会を目指し、市内人権団体などと、さまざまな人権啓発事業を実施します。								

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	人権啓発事業への参加者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	6,152 (令和元年度)	目標	5,700	5,950	6,200	6,200	6,200
		実績	4,916	5,496	5,427	5,654	
<p>・12月7日(土)に「人権・男女共同参画フォーラム」と「障がい者児の人権を考える市民のひろば」を合同で開催し、関係団体の発表、パネル展示、伊藤真波さんの講演会などを行いました。</p> <p>・全ての市民の人権が尊重され、個性と能力を発揮することができる社会を目指して、人権啓発作品(標語・ポスター・写真)を募集しました。</p> <p>・市民団体である人権啓発推進協議会と連携し、様々な人権に関する公開講座を4回開催しました。</p> <p>・6月「男女共同参画週間」や11月「パープル&amp;オレンジリボンプロジェクト」に合わせ、男女共同参画の推進と女性への暴力防止、児童虐待防止の啓発を行いました。</p>						<p>人権啓発作品</p> 	

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和6年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月7日の合同開催は、体験コーナーやスタンプラリー・講演会の実施と盛りだくさんの事業内容とすることで、来場者の関心を高めることができました。今年度は、昨年に比較し、1.4倍の参加者となり、アンケート結果からも約7割の方が2回目以上の参加であり、イベントの魅力が高まっていることが分かります。</li> <li>・人権啓発推進協議会をはじめ、各種人権団体と協働することで、多様なテーマの人権課題について広く市民に学べる機会を提供し、昨年度より200名以上の参加者の増加となりました。</li> <li>・人権啓発作品は、4,443点の応募があり、受賞作品の展示を実施した市民集会は、参加型のイベントにすることで多くの親子連れが来場し、参加者が1.4倍となりました。</li> <li>・ニーズに即した多角的な事業を行うことで、男女共同参画意識の向上を図りました。</li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未だ同和問題や女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人等の様々な人権問題が存在しています。</li> <li>・近年は、SNSなどのインターネット上での人権侵害、LGBT等に関連した人権侵害など、新たな問題も発生しています。</li> </ul>			—

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化・複雑化する社会の中での人権問題について、一人ひとりが自分の問題として認識し、正しい知識を身に付けるため、講演会やワークショップを通して学ぶ機会を提供します。</li> <li>・参加者を増やすため、テーマや開催方法・開催時期などを工夫します。</li> <li>・市民団体や学校、関係機関と協力、連携しながら、人権啓発事業を実施します。</li> </ul>

分野	32	人権	通番 56
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
5年後の目標	一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。		

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	北開田会館地域交流事業		会計	款	項	目	2,030,726円	北開田会館
			一般	3	1	5		
事業の概要								
地域の拠点施設である北開田会館を活用した地域活動等や貸館業務を通じて地域住民と周辺地域住民との交流を深め、同和問題(部落差別)をはじめあらゆる人権課題の解決に向けた各種事業を推進します。								

令和6年度の取組								
D (取組)	指標	北開田会館における人権啓発事業の利用人数					単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7	
		4,532 (令和元年度)	目標	4,600	6,000	6,100	6,150	6,200
	実績		1,187	1,283	1,733	1,717		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・習字教室(35回)、料理教室(3回)、ハイキング教室(8回)、ヨガ教室(20回)、陶芸教室(4回)、手作り教室(1回)、京文化教室(4回)、手話教室(20回)、手話体験会(2回)、囲碁・将棋教室(96回)、軽体操教室(9回)、ゲートボール教室(2回)、クローティー教室(1回)を実施しました。</li> <li>・高齢者の健康維持を目的としたデイサービス事業を16回【サロン13回、寄せ植え2回、社会適応訓練(講習)1回】実施しました。</li> <li>・人権教育指導員による各種人権研修を開催しました。</li> </ul>						手話体験会 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和6年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号	
			—	—	—
	達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標の目標値には、行政の研修及び会議等の利用人数を含んでいましたが、事業の趣旨を考慮し、実際には市民が参加した人権啓発事業の利用人数を測定しており、目標とかなり差異が生じています。</li> <li>・文化教養教室及びデイサービス事業において、開催時期の変更や回数の増減、及び新規立ち上げを行うなど柔軟に対応しましたが、実績人数は昨年度と比べてやや減少しました。</li> <li>・人権教育指導員による各種人権研修については前年度(23回)から7回増え30回でした。同和問題をはじめ様々な人権課題の解決に向けた事業を推進しました。</li> </ul>		
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の利用が多い傾向にあるため、各種事業において若中年者層の利用を促進する事業の展開が課題になっています。また利用者の固定化もみられるため、新規の利用者の掘り起こしや新規事業を行う必要があります。</li> <li>・以前より定期的実施している事業においても、さらに見直しを進め改善していく必要があります。</li> </ul>			

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1:計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化教養教室開催事業及び地区内啓発事業において、会館利用者の多様化するライフスタイルを考慮した上で、参加しやすい開催時期・開催回数を設定するとともに、参加者の声や感想を積極的に取り入れて参加意欲を高めていきます。</li> <li>・人権課題の解決に向けた各種事業を引き続き推進していきます。</li> </ul>

分野	32	人権	通番 57
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
5年後の目標	一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。		

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	平和施策推進事業		会計	款	項	421,604	共生社会推進課
			一般	2	1		
事業の概要							
戦後80年近くが経過し、戦争体験が風化しつつある中で、戦争の悲惨さ、平和の大切さ、いのちの尊さを次世代に引き継いでいくため、行政として中立的な立場から「平和を考える市民フォーラム」等の開催や、インターネットを利用して戦争・平和に関する資料を掲載する「バーチャル平和祈念館」を活用し啓発活動の充実に取り組みます。とくに学校教育現場での活用を推進し、若年層への平和意識の積極的な醸成に取り組みます。							

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	長岡京市バーチャル平和祈念館のアクセス数				単位	件
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	13,894 (令和元年度)	目標	15,000	15,800	16,600	17,500	18,500
		実績	18,950	33,987	36,237	34,615	
<ul style="list-style-type: none"> <li>平和祈念碑、戦没者追悼之碑への献花式の後、式典や講演会、展示などを実施しました。</li> <li>絵本作家 松本春野さんによる講演会のほか、市内空襲に関する実物展示や、広島・長崎原爆写真パネルの展示、すいとんの提供や竹とんぼやけん玉などの昔遊びの体験などを実施し、市民の皆様へ平和について考える機会を提供しました。</li> <li>フォーラムでは、高校生による司会やクイズラリーを実施し、若い世代にも参加してもらえるよう工夫をしました。</li> </ul>					長岡第十小学校での平和学習 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和6年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号
			—	—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>バーチャル平和祈念館の周知方法として、フォーラムで実施したクイズラリーの題材として宣伝したほか、平和授業で子供たちに啓発を行った結果、34,615件のアクセスがあり、目標値を大きく上回りました。</li> <li>式典や講演会・体験等を含め計250人ご参加いただき、広く市民に平和について考える機会を提供できました。</li> <li>長十小6年生49人に平和の授業を実施し、神足空襲や市の取組事業などについて話し、通常の授業では学ぶことができないことを知ってもらう機会としました。</li> </ul>	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>平和啓発に関するイベントについて、若い世代の関心を高める工夫が必要です。</li> <li>バーチャル平和祈念館の利用促進、特に若年層の利用とレポート促進のための工夫が必要です。</li> </ul>		

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの取組を継承しながら、若年層に平和を考えていただける講演会を企画します。</li> <li>子どもたちが興味をもって平和・戦争について学べる機会とするため、クイズラリーや体験コーナーなど工夫あるフォーラムを実施します。</li> <li>小学生を対象に平和学習を実施し、バーチャル平和祈念館に学習成果を掲載します。</li> </ul>

分野	32	人権	通番 58
施策	322	多様性を認め合う共生社会の実現	
5年後の目標	すべての人が、自分の望む人生を自分で選び取る機会を保障され、個性と能力を十分に発揮して生活している。		

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	男女共同参画社会の実現事業		会計	款	項	目	8,474,200	男女共同参画センター
			一般	2	1	17		
事業の概要								
男女共同参画社会の形成には、あらゆる世代の市民が、固定的性別役割分担意識や男女の不平等感を払拭し、男女共同参画の視点と意識を持つことが必要です。そのため、多様な選択を可能とする学習機会の確保や、各種啓発事業の充実を図るとともに、女性活躍を推進する環境作りを進めます。また、誰もが様々な問題や悩みを安心して相談できる体制を整備するとともに、関係機関との連携のもと、ドメスティック・バイオレンスや児童虐待への対応を強化し、DV被害者等へのワンストップ支援体制の充実を図ります。								

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	審議会等の市民公募委員への女性委員参画比率				単位	%
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
		目標	46.0	46.0	48.0	48.0	50.0
	45.3(令和元年度)	実績	52.8	54.0	54.5	49.1	
・審議会等の市民公募委員については、長岡京市審議会等への女性委員の登用推進要綱に基づき、事前協議書の確認を行い、女性の参画拡大につなげました。 ・男女共同参画推進講座を15講座実施しました。人権・男女共同参画フォーラムでは、伊藤真波氏による講演の他、男女共同参画川柳、パープル＆オレンジリボンプロジェクトに寄せられたメッセージ、ジェンダーギャップ指数等、男女共同参画フロア“いこ～る”の活動団体のパネル展示等を行いました。 ・「面接相談」「電話相談」「DV電話相談」「女性のカウンセリングルーム」「女性の法律相談」「男性電話相談」を行うとともに、必要に応じて長岡京市DV対策及び困難な問題を抱える女性への支援に係るネットワークにおける関係機関と連携し支援を行いました。				パネル展示 			

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和6年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号	
		「地域で」、「社会全般として」男女が平等になっていると考える市民の割合<男女ごと>		男性では「地域で男女平等」と考える割合が増加し、女性では「地域で男女平等」「社会全般で男女平等」と考える割合がともに増加しました。	25
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・審議会等の市民公募委員への登用については49.1%と目標値を上回りました。 ・講座については、参加人数は810人となり、男女共同参画の意識づくりにつなげることができました。 ・「パープル＆オレンジリボンプロジェクト」への参加者は582名でした。高等学校2校へ「デートDV」についての出前授業を行い、暴力被害の未然防止と誰もが安心して暮らせる社会づくりに向け意識啓発を行いました。 ・令和6年度の相談件数は、面接と電話による「一般相談・DV相談」が697件、内DV71件(10.2%)、「女性のカウンセリングルーム」が100件、内DV15件(15.0%)、「女性の法律相談」が26件、内DV0件(0%)、「男性電話相談」が16件、内DV0件(0%)の合計142件、内DV15件(10.6%)となりました。	
課題等	・審議会等の市民公募委員への登用については、目標値を達成しています。今後も目標を達成できるように引き続き担当課へ働きかけを行います。				

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	・引き続き、幅広い分野への女性の参画拡大に向け、担当課へ働きかけを行います。また、全体の女性参画比率を上げるために、選出母体である地域団体等に対し、自治会や地域コミュニティ協議会等を通じ、男女共同参画啓発を行います。

分野	32	人権	通番 59
施策	322	多様性を認め合う共生社会の実現	
5年後の目標	すべての人が、自分の望む人生を自分で選び取る機会を保障され、個性と能力を十分に発揮して生活している。		

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	性の多様性理解促進事業		会計	款	項	326,282	共生社会推進課
			一般	2	1		
事業の概要							
LGBTなど、新たな人権課題である「性の多様性」への理解を進めるため、市民・学校・事業所等への啓発の充実を図るとともに、市としての発信に取り組みます。							

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	性の多様性理解促進に関する取組み				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	—	目標	パートナーシップ制度の実施	LGBTリーディングカンパニー制度の検討	LGBTリーディングカンパニー制度の実施	制度の運用	制度の運用
		実績	パートナーシップ制度の実施	LGBTリーディングカンパニー制度の検討	にじいる企業登録制度の制定	制度の運用	
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年6月に「にじいる企業登録制度」の運用を開始しました。</li> <li>令和6年11月より全国の自治体と連携し、転出入の際のパートナーシップ宣誓制度の事務手続きが簡略化できるよう制度の拡充を図りました。</li> <li>性的少数者やその周囲の人たちが気軽に集まり交流できるコミュニティスペースの開催や市民を対象とした講座を開催しました。</li> <li>プライド月間(6月)に性の多様性パネル展を市役所ロビーで実施しました。</li> </ul>					長岡京市にじいる企業登録証授与式 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和6年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号
		LGBT(性的少数者)という言葉の認知度	近年、性の多様性への理解は広がりつつあり、LGBT(性的少数者)という言葉の認知度も9割以上と高くなっています。	
達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「にじいる企業登録制度」の本格運用の開始に合わせて、登録証授与式を行いました。</li> <li>パートナーシップ宣誓制度の拡充に伴い、HPを作成し、周知を図りました。</li> <li>市内の事業所を対象に性の多様性に係る講座を実施しました。</li> <li>若年層への啓発として、性の多様性に係る講座をワークショップ形式で実施し、計25名の参加がありました。アンケートではすべての方が「理解が深まった」と回答しました。</li> </ul>	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>にじいる企業登録制度について、企業や事業所への周知と合わせて、理解促進の支援が必要です。</li> <li>パートナーシップ宣誓制度を契機とした取組(行政サービス等)の推進を図ることが必要です。</li> <li>当事者のニーズを把握する機会が少ないのが現状です。</li> </ul>			

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当		<ul style="list-style-type: none"> <li>にじいる企業が求める研修内容を踏まえた研修会の実施など、所属に合わせた性の多様性への理解促進を図ります。</li> <li>コミュニティスペース「まあぶるスペース」を開催し、当事者やその支援者の交流や機会の提供、ニーズの把握を行います。</li> <li>若年層にワークショップ型の講座を実施することで正しい知識と理解の啓発に努めます。</li> </ul>

分野	32	人権	通番 60
施策	322	多様性を認め合う共生社会の実現	
5年後の目標	すべての人が、自分の望む人生を自分で選び取る機会を保障され、個性と能力を十分に発揮して生活している。		

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	障がい理解・合理的配慮 提供促進事業		会計	款	項	399,168	障がい福祉課
			一般	3	1		
事業の概要							
障がい者差別の解消や理解促進を図るため、障がい特性の理解と合理的配慮の事例を学ぶ機会の創出や、主体的に行動できるサポーターづくりに取り組みます。							

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	障がい特性理解のための研修を受け、「あいサポーター」となった市民・事業者の数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
		719(令和元年度)	目標	880	1,030	1,230	1,430
	実績		1,236	1,346	1,509	1,810	
<p>・障がいのある方に対しての手助けや配慮等を実践するあいサポーターの養成を通じて、誰もが暮らしやすい社会を目指すあいサポート運動を推進するため、「あいサポーター養成研修」を行いました。オンライン研修について、市ホームページやチラシで周知しました。</p> <p>・あいサポーター養成研修を受講し、あいサポート運動の普及等に積極的に取り組む企業、団体等に対して「あいサポート企業等」の認定を行いました。</p> <p>・ホームページや広報紙に合理的配慮の取組やあいサポート運動の概要、ほっとはあと製品(障がい福祉事業所の製品)の紹介等を掲載し、啓発を行いました。</p>					<p>あいサポーター養成研修の様子</p> 		

施策の「5年後の目標」に対する評価						
令和6年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	番号	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	障がい者(児)に対するアンケートで、①「障がい者にとって住みやすい家が準備されていること」が選択された割合 ②「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が選択された割合		約4分の1の人が住まいに何らかの支援を求めています。同時に減少傾向ではあるものの、半数以上の人が必要な福祉サービスの適切な利用を望んでいます。	16
			達成状況		・市民、企業、団体、市職員を対象に計11回のあいサポーター養成研修を実施し、301人のあいサポーターを養成しました。市職員に対する研修は、新入職員への集合研修と未受講者を対象とした集合研修に分けて実施しました。 ・6団体を「あいサポート企業等」に認定しました。	
課題等	・改正障害者差別解消法改正が令和6年4月1日から施行されたことで、民間事業者にも合理的配慮が義務化されています。民間事業者にも法改正の内容とともに、障がいに対する理解を深めてもらうことが重要です。 ・誰もが暮らしやすい長岡京市を実現するために、障がいのある方に対し配慮できるあいサポーターのさらなる養成が必要です。					

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当		・引き続き、市民・事業者・団体等へ積極的に周知啓発を行い、障がい理解の向上に努めます。 ・あいサポーター養成の拡大に向けて、あいサポーター養成研修の情報発信に取り組み、研修参加者を増やすとともに、参加者のニーズに合わせた研修内容を企画します。 ・民間事業者の障がい理解啓発を促進し、あいサポート企業等の認定を増やします。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 61
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	各種団体・サークル等活動 支援事業		会計	款	項	346,500	中央公民館
			一般	10	4		
事業の概要							
公民館で活動しているサークルの活動紹介等を通じて、公民館に来館し、活動する市民を増やします。館内の発表会・パネル展示・広報紙に加え、中・高・大学生、壮年等の世代別の広報も展開し、新たな市民利用を呼び込みます。							

令和6年度の取組							
D (取組)	指標①	公民館(社会教育ホール)登録団体件数				単位	団体
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	166(令和2年8月末 現在)	目標	170	175	180	185	190
		実績	182	190	155	168	
	指標②	公民館(社会教育ホール)登録団体による利用件数【児童室・焼成炉室除く】				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
2,869 (令和元年度)	目標	2,900	2,930	2,960	2,990	3,020	
	実績	1,921	2,678	2,802	2,672		
<p>・公民館サークル連絡協議会(略称:公サ連)の会員が中心となり、市民ギャラリーの作品展示や館内での募集看板の掲示及びガラシャ祭で体験会であるオープンハウスを利用したサークル加入のための広報活動を実施しました。</p> <p>・ロビーに設置しているデジタルサイネージの活用策として、公サ連加入サークルの紹介記事を表示して来館者の目に触れるようにすることで、市民への広報と公サ連加入へのメリットを生み、加入促進の取組を実施しました。</p>					<p>オープンハウス(食を楽しむ会)</p> 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和6年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号
			—	—
C (評価)	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況 ・エレベーター更新工事に伴う貸館休止期間(8/20~23、8/27~30)があったため、利用件数が微減となりました。	
	課題等	・団体登録件数の減少が見込まれるため、更なるサークル会員の確保に向けた取組が必要です。		

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1:計画通りに進めることが適当	・見学や体験の機会となるオープンハウスを引き続き実施するほか、普段の活動時でも気軽に見学できるよう、活動日に「見学歓迎」等の掲示を行い、会員確保につなげていきます。その他、デジタルサイネージに動画を表示するなど更なる活用を進めるとともに、市ホームページの見せ方の工夫により、公サ連への加入やサークル活動に結びつくような情報提供に取り組めます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 62
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標	誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。		

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	公民館市民講座開設事業		会計	款	項	1,171,319	中央公民館
			一般	10	4		
事業の概要							
<p>市民生活が生涯学習を通じて潤いあるものとなるように、様々な学習ニーズに対応した講座を実施します。また、実際生活に関する学習課題を市民自らが講師となり共に解決していく「市民企画講座」を実施します。</p>							

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	公民館主催講座の参加者数(児童室一般開放を除く)				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
		6,013(令和元年度)	目標	6,130	6,190	6,250	6,310
	実績		3,877	5,099	5,119	4,956	
<p>・各世代のニーズに応じた講座として、青少年教育(少年少女発明クラブ12回)、男女共同参画(男女共同参画講座1回)、高齢者教育(熟年生き生き講座12回)、家庭教育(びよびよクラブ10回、子育てふれあいルーム68回、多文化共生子育て講座1回)、福祉教育(聴覚言語障がい者学級1回)を実施しました。また、公民館での子育て事業や各種講座への託児に従事する子育てボランティアを養成する講座5回、子育てボランティア同士の情報共有の場としてサポーターふれあいネット12回を実施しました。</p> <p>・市民企画講座は、総合計画から抽出した6つのテーマに沿って市民自らが講師となり、54企画、105講座を実施しました。個別の講座チラシに加えて、3ヶ月単位で取りまとめたチラシを作成し、さらにロビーに設置しているデジタルサイネージにチラシを表示し、来館者に実施時期や内容が一目でわかるよう工夫しました。</p>					<p>市民企画講座</p> 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和6年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号
		—	—	—
達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	・市民企画講座では、講座終了後にアンケート調査を実施し、集約結果を講師と共有することで、参加者ニーズの把握と次回への取組課題への反映につなげており、参加者の満足度は80%~100%となっています。	
			課題等	・市民に市民企画講座が認知されてきた一方、講座数が増えたことに伴いサークル活動のために使える部屋が少なくなるため、サークル活動を抑制せず、市民企画講座を実施することが課題です。

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
1:計画通りに進めることが適当		<p>・1企画あたりの講座数に上限を設けるなど、サークル活動の充実とのバランスを調整します。</p> <p>・多岐にわたる企画について、公民館事業として適した内容であるか審査基準を設けるなど、企画の精査を行います。</p> <p>・アンケート結果をもとに市民ニーズの把握に努め、企画者とともにより良い講座となるよう引き続き実施していきます。</p>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 63
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標	誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。		

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	中央生涯学習センター事業		会計	款	項	72,742,760円	生涯学習課
			一般	10	1		
事業の概要							
<p>人生100年時代を迎え、生涯学習社会への重要性が高まっています。市民の主体的な学びの場として、また、学習機会や情報を提供する場として、中央生涯学習センターを管理運営します。</p>							

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	中央生涯学習センター貸室利用率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	48.7(令和元年度)	目標	30.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績	30.1	40.9	43.6	46.2	
<p>・中央生涯学習センターの管理運営は、指定管理者である大阪ガスビジネスクリエイト株式会社に委任しています。          ・指定管理者の自主事業として、バンビオ展示ウィーク、バンビオファミリー人形劇、夏休み親子企画、各種講座などを行いました。また、「ウインターマルシェinバンビオ」と「おとくにおんがくでつながろうプロジェクト」を初開催し、出展者(バンビオ利用団体)と市民の相互交流を促進しました。          ・生涯学習機関紙「be→!」や「バンビオここから通信」を全戸配布し、イベントの告知や施設利用サークルの紹介などの情報発信を行いました。</p>							
自主事業(ウインターマルシェ)の様子							

施策の「5年後の目標」に対する評価 令和6年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号
			主な社会教育施設の利用者数	コロナ禍で低下した利用者数は、回復傾向にあります。
	達成度合 (目標の80%~100%程度)	達成状況	<p>・主に、時間貸し(リハーサルスタジオ、学習室)の利用が増え、貸室を利用した人数は、前年度を上回りました。          ・空調設備の修繕や各貸室の照明をLED化したことで、より快適な利用環境を整えることができました。          ・指定管理者の自主事業として講座やイベントを積極的に行い、事業への参加を通じて、多くの人に新たな学びの機会を提供しました。</p>	
	課題等	<p>・利用者に安全かつ快適に施設を利用いただくために、施設設備や備品の計画的な修繕や更新を行う必要があります。</p>		

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1:計画通りに進めることが適当	<p>・引き続き、魅力的な講座やイベントを実施し、生涯学習、施設利用のきっかけづくりとなる取組を行います。          ・計画的に、施設設備や備品の修繕・更新を行います。</p>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 64
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。	

概要						
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)	予算科目			決算額(円)	担当課
	図書館サービスの推進・ 充実事業	会計	款	項	12,339,681円	図書館
		一般	10	4		
事業の概要						
読書啓発活動を推進するとともに、今まで図書館を利用していない人にも魅力を感じてもらえるアプローチの手法を検討・実施します。						

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	1冊あたりの年間稼働率(回転数)				単位	回
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
		目標	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70
	1.58(令和元年度)	実績	1.72	1.70	1.70	1.69	
<p>・乳幼児向け「えほんのひろば」では新たに英語絵本の読み聞かせを開始し、また「絵本で楽しむ英語のいっぽ」をステップアップさせた「英語のいっぽ」を実施するなど、幅広い世代が楽しく多言語に触れる機会を創出しました。</p> <p>・図書館利用の少ない10代を対象に、市内企業の方を講師に招き、「お仕事図鑑」と題した講演やワークショップを実施しました。13名が参加し、「将来を考える機会になった」「人との繋がりの大切さを知った」といった声が寄せられ、自己実現に向けた学びの場を提供することができました。</p>					 <p>「お仕事図鑑 ～カメラってこんなに楽しい～」</p>		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和6年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号
			—	—
達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	<p>図書館資料の回転数向上のため、各世代に応じたイベント開催と情報発信に注力し、図書館資料の利用促進を図りました。</p> <p>・絵本の読み聞かせや工作、読書講演会など、乳幼児向け90回、小学生向け30回、中高生～大人向け38回の読書推進イベントを実施し、幅広い世代に本との出会いを提供しました。</p> <p>・市公式LINE「図書館つーしん」を月2回配信し、図書館情報を積極的に発信した結果、年間イベント参加者数は延べ2,578名(前年度比364名増)となりました。</p>	
	課題等	<p>・インターネットやスマートフォンの普及による読書離れが懸念される中、積極的に読書の楽しさや図書館の魅力を伝えていく必要があります。</p> <p>・老朽化した機器・設備の更新や、誰もが快適に利用できるユニバーサルデザインへの配慮、変化する市民ニーズへの対応など、図書館環境の整備が課題です。</p>		

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	<p>1:計画通りに進めることが適当</p> <p>・市民のニーズを踏まえ、幅広い分野の図書を収集するとともに、古い資料の適切な廃棄を進め、蔵書の充実を図ります。</p> <p>・各世代に応じた読書推進イベント開催と情報発信を引き続き積極的に実施します。</p> <p>・図書館の再整備に向け、関係部署と連携し、現状の課題整理と今後の整備内容について検討を進めます。</p>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 65
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標	ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつつている。		

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	長岡京芸術劇場推進事業		会計	款	項	77,643,907	文化・スポーツ 振興課
			一般	10	4		
事業の概要							
<p>「長岡京芸術劇場」公演をはじめとした文化・芸術事業を推進します。また、子どもたちが文化・芸術に興味関心を持ち、活躍するまちづくりに取り組みます。</p> <p>また、長岡京記念文化会館を拠点とした質の高い舞台芸術の提供と充実を図るとともに、記念文化会館の安定的な運営を目指し京都府に対して会館の活用や維持・改修を求めています。</p>							

令和6年度の取組								
D (取組)	指標	長岡京芸術劇場の事業数					単位	事業
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7	
		目標	15	24	25	26	27	
	21(令和元年度)	実績	12	18	22	22		
<ul style="list-style-type: none"> <li>5月4日に「長岡京芸術劇場 長岡京駅前広場コンサート」を開催しました。市内の中学・高等学校の吹奏楽部や一般の団体など10団体が参加し、多くの市民にご来場いただきました。</li> <li>長岡京芸術劇場事業として、長岡京芸術劇場実行委員会主催事業(6事業)、文化奨励事業補助金助成事業(6事業)、芸術劇場ロゴマーク使用申請イベント(9事業)を企画し、21事業を実施しました。</li> <li>長岡京芸術劇場実行委員会主催事業出演団体3団体による、付常事業として、市内の小学校への出張演奏会(2団体)や、市内中学生にコンサートへの無料招待と交流会(1団体)を実施いただくなど、児童生徒との交流を図っていただきました。</li> <li>長岡京記念文化事業団に対し支援を行い、長岡京記念文化会館で音楽、映画、人形劇等の15事業を実施しました。京都府に施設設備の維持・改修を求め、舞台諸幕地取替改修や自動火災報知設備改修を行いました。</li> </ul>					京都市立芸術大学による演奏会(五小) 			

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和6年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号
		—	—	—
達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴールデンウィークに開催した「長岡京芸術劇場 長岡京駅前広場コンサート」や、長岡京記念文化会館にて開催した「長岡京芸術劇場主催事業」6事業をはじめ、長岡京芸術劇場事業として、合計22事業を実施することができました。目標事業数の達成には至りませんでした。入場者数はコロナ禍前に戻ってきています。</li> <li>音楽を「聴く」「観る」「楽しむ」ことをコンセプトとして、市民文化芸術の育成や発表の機会の重要性を再認識しながら文化の継続と発展をテーマとした公演を実施しました。</li> </ul>	
		課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「長岡京芸術劇場事業」の来場者増加のため、長岡京記念文化事業団と連携を図りながら、文化・芸術公演の更なるPRが必要です。</li> <li>各文化芸術団体と調整・協議を重ね、連携協力しながら、事業の活発な実施のため、更なる工夫・支援が必要です。</li> </ul>	

次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>長岡京芸術劇場実行委員会が主催する「長岡京芸術劇場」公演の更なるPRを図り、市内及び市外からも入場者を募ります。</li> <li>文化芸術団体と調整・協議を行い、連携協力しながら、事業を活発に実施できるよう検討・工夫及び支援を行っていきます。</li> <li>ポスターやチラシの配架に加え、FMおとくになどを活用し、更なるPRを実施していきます。</li> </ul>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 66
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標	ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつつている。		

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	文化活動推進・支援事業		会計	款	項	2,940,000	文化・スポーツ 振興課
			一般	10	4		
事業の概要							
誰もが文化・芸術活動にふれ、参加してもらう機会を確保するため、文化団体の文化・芸術活動を推進し、活動支援を行います。							

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	文化活動団体事業における参加者数(出品者、出演者、鑑賞者)				単位	人
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
		目標	6,000	10,800	10,900	11,000	11,100
	7,092(令和元年度)	実績	3,876	7,854	8,058	7,193	
・長岡京市文化協会が主催する事業に補助金を交付し、市民の文化芸術の発表の場であり鑑賞の場でもある「名月の宴」「市民文化まつり」「長岡京展」等の実施について支援を行いました。また「文化講座」として「いけばなに触れる 花と日本人の文化&おもてなし」や「各種市民文化教室」の開催を支援し、初心者を対象にした文化芸術活動へのきっかけづくりを行いました。 ・「長岡京市文化奨励事業補助金」制度(募集期間:4月と10月)を運用し、文化芸術に触れる機会を提供する実施団体の自主的な文化・芸術活動に対し支援を行いました。 ・会員数維持のため「文化・芸術サークル見学会」を実施しました。 ・様々な世代に文化に触れていただくため、「夏休み牛乳パックでランタン作り」や「絵本を読んで絵を描こう」という絵画教室など、子どもたちやファミリー向けの事業を実施しました。							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和6年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号
		文化まつり等文化事業における参加者数(出品者・出演者・鑑賞者)	徐々に事業が平常に開催されたことに伴い、コロナ禍前の水準に回復しつつあります。	30
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者数は目標値を達成できませんでしたが、回復傾向です。</li> <li>・「名月の宴」では、「夏休み企画牛乳パックでランタン作り」の参加者(計46名)が作成したランタンを展示し、若い世代(や子育て世代)に来場いただきました。</li> <li>・長岡京市文化奨励事業補助金の交付件数は、募集期間を4月だけでなく10月にも追加募集を行いました。結果は、前年度より1件減の6件となりましたが、支援の機会を増やすことはできました。</li> <li>・文化協会新規会員獲得のため、各サークルと協力し、「文化・芸術サークル見学会」を開催し、参加者へ各サークルの活動内容を周知しました。</li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会会員数は、年々減少傾向です。会員、各団体・サークル等と協力連携し、新規会員獲得、会員数維持への更なる努力が必要です。</li> <li>・文化芸術活動に携わる人が、高齢化・固定化しており、担い手の不足が深刻な状況です。</li> </ul>			

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術関連団体と連携協力を行うとともに、実施団体の支援や事業PR等に取り組んでいきます。</li> <li>・文化協会の人材を活用するなどして、文化芸術活動への参加のきっかけとなるような市民文化教室や文化講座の開催などを支援していきます。</li> <li>・文化協会新規会員獲得への更なる努力が必要です。</li> <li>・スポーツ分野や福祉分野とも連携しながら、事業の活性化等にも取り組んでいきます。</li> </ul>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 67
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。	

概要					
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目	決算額(円)	担当課
	総合的な 文化財保存活用の推進		会計	17,674,209	文化財 保存活用課
			款		
		項	4		
		目	5		
事業の概要					
文化財保存活用地域計画の策定と新庁舎での歴史資料の展示公開を進めます。計画の策定と合わせて、恵解山古墳をはじめとする「乙訓古墳群」の保存・整備、未調査の歴史資料の収集・調査・保存に取り組みます。					

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	文化財保存活用地域計画の策定、新庁舎での歴史資料の展示公開				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	—	目標	文化財保存活用地域計画の素案作成	文化財保存活用地域計画の作成	新庁舎歴史資料展示内容検討	新庁舎歴史資料展示設計	新庁舎歴史資料展示施工
	実績	長岡京市文化財保存活用地域計画の素案作成	長岡京市文化財保存活用地域計画の作成	新庁舎歴史資料展示室基本計画(案)の作成	新庁舎歴史資料展示室の基本設計の作成		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎歴史資料展示室の基本設計を作成しました。</li> <li>・国史跡乙訓古墳群のひとつである井ノ内稲荷塚古墳の一部を公有化しました。</li> <li>・恵解山古墳公園の開園10周年を契機に園内の一部を整備しました。</li> <li>・文化財啓発事業として、歴史講演会や恵解山古墳公園の開園10周年を記念したイベントの実施や市内文化財関連施設を巡るスタンプラリーの実施等に対する支援を行いました。(主催:文化財保存活用推進会議)</li> </ul>					<b>展示イメージ</b> 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和6年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号
		—	—	—
達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資料展示室の施設コンセプトを「長岡京市7つのものがたりミュージアム」と定め、オープンまでの展示制作及び展示スケジュールを基本設計にまとめました。</li> <li>・国史跡乙訓古墳群のひとつである井ノ内稲荷塚古墳の全面積2,050㎡のうち477㎡を公有化しました。</li> <li>・恵解山古墳保存・活用検討懇話会において、公園の活用方法及び整備方針の意見をもとに、文化庁の補助金を活用し危険木の剪定や園路整備(階段設置)等を実施しました。</li> <li>・市内の歴史文化を体感できる場所である光明寺大書院で開催した歴史講演会では、70名の定員に対して113名の応募がありました。恵解山古墳公園開園10周年記念イベント「いげのやまフェスタ」当日は雨天により、長岡第八小学校体育館で記念式典のみ実施し、約110名の参加がありました。また、市内周遊スタンプラリーでは1箇所平均約1,000名の参加者があり、全5箇所を巡った参加者は延べ270名でした。</li> </ul>	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乙訓古墳群の史跡保護の観点から、購入が可能な史跡を計画的に購入していく必要があります。</li> <li>・歴史資料展示室を運営するための専門的人材の確保と調査研究体制を整備する必要があります。</li> <li>・地域計画の重点事業に掲げている財源確保の取組をはじめ、歴史資料展示室を中心施設とするまちなか博物館ネットワークを構築するために文化財の保存活用をより推進することが必要です。</li> </ul>			

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の歴史資料展示室オープンに向け、具体的な展示の製作を進めるとともに、認知度の向上のための取組を進めます。</li> <li>・歴史資料展示室オープンを機に、まちなか博物館ネットワークが具現化できるよう市の歴史文化の魅力を発信するための事業を更に進めます。</li> </ul>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 68
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	総合型地域スポーツクラブ 推進事業		会計	款	項	12,670,211	文化・スポーツ 振興課
			一般	10	5		
事業の概要							
全小学校区で総合型地域スポーツクラブの設立を図ります。							

令和6年度の取組								
D (取組)	指標		総合型地域スポーツクラブの設立数				単位	小学校区
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7	
		目標	8	8	9	9	10	
	8(令和元年度)	実績	8	8	8	8		
・8つの小学校区で設立されている総合型地域スポーツクラブへの支援を行いました。特にスポーツフェスティバルについては、8校区全ての総合型地域スポーツクラブで実施しました。 ・総合型地域スポーツクラブ未設立の校区においては、地域スポーツ振興事業の委託などによる支援を行うとともに、クラブ創設に向けた働きかけをおこないました。						市民スポーツフェスティバル(十小) 		

施策の「5年後の目標」に対する評価			
令和6年度の達成状況			
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド
		市民スポーツ実施率	市民スポーツ実施率は、増加傾向にあります。
	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況 ・現在までに8校区で設立された総合型地域スポーツクラブを中心に、イベントや教室を開催し、校区住民の運動・スポーツの機会を提供することができました。
	課題等	・総合型地域スポーツクラブの運営やイベント開催時の担い手不足や高齢化が課題です。 ・未設立校区では、設立に向けた機運醸成が必要です。	

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1:計画通りに進めることが適当 対応策等 ・地域スポーツが地域の絆や地域コミュニティの醸成につながるよう、関係団体と調整・協議を行い、事業実施に向けた検討・工夫を行っていきます。 ・未設立校区では設立に向けて、引き続き、長岡京市スポーツ協会と連携協力しながら「核となる団体」に対し、総合型地域スポーツクラブの意義について説明や、その必要性について理解を求めていきます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 69
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	スポーツ交流推進事業		会計	款	項	18,351,803	文化・スポーツ 振興課
			一般	10	5		
事業の概要							
若葉カップ全国小学生バドミントン大会を通じ、競技力向上の機会と広域的な交流を深める機会を創出します。また、市民が身近な校区で運動・スポーツに親しめるよう、小中学校の体育施設を開放し、運動・スポーツのできる環境の確保に努めるとともに、スポーツ少年団の育成やスポーツ団体連合会の活動の支援を図ります。さらに、パラスポーツなど誰もが楽しめるスポーツの推進に取り組み、市民のスポーツ実施率を高めます。							

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	学校開放・夜間照明利用件数				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	9,212(令和元年度)	目標	9,800	9,400	9,400	9,400	9,800
		実績	5,038	9,563	10,099	9,721	
<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校施設を開放し、学校開放事業及び夜間照明施設事業を行いました。</li> <li>「第40回記念若葉カップ全国小学生バドミントン大会」を開催しました。</li> <li>「第60回市民大運動会」及び「第36回市民スポーツフェスティバル」を開催しました。</li> <li>地域スポーツの振興を図るため、スポーツに親しむ行事等の実施を各校区に委託しました。</li> </ul>					市民大運動会(神足小)		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和6年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号
			市民スポーツ実施率	市民スポーツ実施率は、増加傾向にあります。
C (評価)	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校体育館及び武道場にて、空調工事を行った影響で、利用人数は昨年度と比べ3.7%減少しています。</li> <li>「第40回記念若葉カップ全国小学生バドミントン大会」では、初めての試みとして、開会式を長岡京記念文化会館で行い、また予選リーグの会場を2か所(西山公園体育館と向日市民体育館)に分けました。</li> <li>「第60回市民大運動会」は市内全10小学校区で実施しました。</li> <li>「第36回市民スポーツフェスティバル」は総合型地域スポーツクラブのある8校区で実施しました。</li> </ul>	
	課題等		<ul style="list-style-type: none"> <li>「若葉カップ全国小学生バドミントン大会」は、長年全国から参加される大会として本市で開催されていますが、審判体制や駐車場不足などの課題もあるため、今後も安全で円滑、持続可能な大会運営ができるよう、実行委員会や関係機関と密な連携や入念な準備が必要です。</li> <li>「市民大運動会」や「市民スポーツフェスティバル」の運営の担い手不足や高齢化が課題です。</li> </ul>	

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツイベント開催や施設開放を通じ、市民がスポーツに親しむ機会を提供します。地域の絆が深まり、地域コミュニティの醸成につながるようスポーツの推進に取り組みます。</li> <li>各種スポーツイベントの運営について負担軽減や担い手確保などの課題について、各校区と協議し、必要な支援を行います。</li> </ul>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 70
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	スポーツ施設環境の整備		会計	款	項	目	47,602,176	文化・スポーツ 振興課
			一般	8	4	6		
			一般	10	5	2		
事業の概要								
<p>スポーツ活動の拠点である西山公園体育館やスポーツセンターの適正な維持管理に努めながら、多くの市民がライフステージに応じたスポーツを楽しむことができるよう、市民スポーツ活動の充実を図ります。特に老朽化が進むスポーツセンターについては、体育館機能の移転、現行敷地の屋外機能の拡充等を含む再整備について検討し、具体化を図ります。</p>								

令和6年度の取組							
D (取組)	指標	体育館等施設利用者数(西山公園体育館・スポーツセンター)				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	268,232 (令和元年度)	目標	240,000	272,500	275,000	277,500	280,000
		実績	153,657	196,762	206,842	250,350	
<p>・施設の老朽化が進む中、設備・備品の修繕や更新を適宜実施し、施設の維持管理に努めました。 ・熱中症警戒アラート等の発令に対して、取消に伴う還付や閉鎖のルールを定め、健康被害の予防に努めました。</p>						<p>スポーツセンター</p> 	

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和6年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	番号
			—	—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	<p>・目標値には届きませんでしたが、長期にわたる使用停止期間がなかったことから、利用人数は昨年度より20%以上増えました。 ・西山公園体育館においては、バスケットゴールの修繕や非常放送の主装置の修繕、柔道用の畳の更新を行いました。 ・スポーツセンターにおいては、消火ポンプと防球ネットの修繕を行いました。 ・西山公園体育館及びスポーツセンターの管理運営について、指定管理者のスポーツ協会と協議検討を行いました。</p>	
	課題等	<p>・両施設とも老朽化のため、安全を最優先に、緊急度に応じた設備の計画的な更新を行う必要があります。 ・スポーツセンターについては、再整備に向けた検討を進めます。</p>		

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<p>・西山公園体育館は、緊急度に応じた設備の計画的な更新を行っていきます。 ・スポーツセンターは、当面必要となる施設の安全性の確保、機能維持に向けた対応を行いながら、再整備に向けた検討を進めます。</p>